

1 単元について

(1)単元観

本単元では、平成29年告示の中学校学習指導要領 社会編 公民的分野の(2)C私たちと政治の(2)民主主義と政治のイを踏まえて設定したものである。本単元では、地方自治や我が国の民主主義の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することを目的としている。そのためには、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現することが求められている。

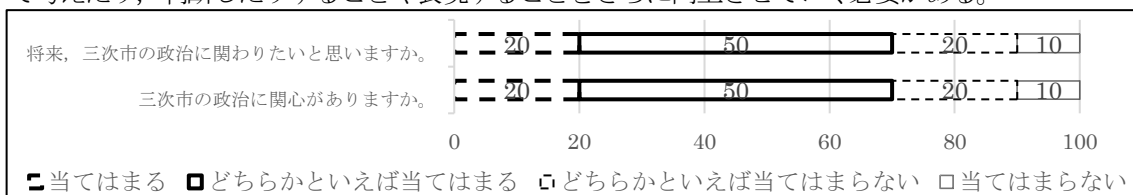
これまでの学習では、地理の学習において、事象の特色や相互の関連を考えたり、地域の課題を把握して、その解決に向けて選択・判断する学習をしている。また、歴史の学習においては、歴史的事象の類似点や差異を明確にしたり、相互に関連付ける学習をしている。公民の学習においては、現代社会を捉え、考察、構想する際に働かせる概念的な枠組みの基礎を学習する。

これまでの公民の学習では、現代における社会の変化や対立と合意、効率と公正の考え方、日本国憲法の基本的原則をはじめ、憲法により保障されている基本的人権や憲法に基づいて政治について学習している。本単元では、憲法の条文における政治の学習から、現代社会において行われている政治を学習する。現代社会の選挙の仕組みや政党の役割、世論の形成について学習をしていく中で、生徒の政治に対する関心を高めるとともに、主権者であるという自覚を深め、主体的に政治に参画する意義を理解させることのできる単元である。

(2)生徒観

本単元に関するアンケートによれば、「三次市の政治に関心がありますか。」という質問に対して肯定的な回答をした生徒は70.0%、「将来、三次市の政治に関わりたいと思いますか。」という質問に対して肯定的な回答をした生徒は70.0%であった。しかし、「良く当てはまる」と回答した生徒はどちらも20.0%である。そのため、生徒は三次市の政治に関心はあるが、積極的に関わっていきたいと考えているとは言い難い。

また、「社会の授業で、根拠を持って自分の意見を考えるようにしていますか。」という質問に対して肯定的な回答をした生徒は90.0%と高い割合であった。しかし、令和2年度1学期「期末試験」の学力定着状況によれば、思考・判断・表現の達成率は69.0%と低くなっている。また、知識・理解の達成度は72.0%であったため、社会的事象の知識や理解はあっても、それらを根拠にして考えたり、判断したりすることや表現することをさらに向上させていく必要がある。



(3)指導観

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編の新教育課程では、現代社会の見方・考え方については、次のように整理されている。

現代社会の見方・考え方については、「社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などに関連付けること」とある。

また、本単元においては「対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して考察、構想し、表現すること」とある。

本時では、作木市の市長選挙において「だれを市長に選ぶべき？」という課題を設定する。生徒には作木市の住民になったと想定させ、どのような政策を実現させる市長を選ぶべきか考えさせる。その際には、生徒自身の単なる希望や要望にとどまらないよう、作木市における市民の声などの複数の資料を参考にして、どのような理由から市長に選んだのか、明確な理由を考えさせる。また、生徒の考えをグループにより検討することにより、反対の意見や共通の意見を参考にしながら、効率と公正の観点に着目させ、生徒の理由を充実させていきたい。また、グループでの検討、交流の後には再度「だれを市長に選ぶべき？」という課題について、これまでの様々な意見から生徒一人一人に選択、判断させる。

この学習を通して、生徒の政治に対する関心を高めるとともに、選挙を通じて政治に参画することについて考えさせ、主体的に政治に参画する意義を理解させたい。また、選挙に関するテーマをお互いに議論させることにより、根拠を持って自分の意見を考えたり、判断したりすることや表現する能力を高めていきたい。

2 単元目標

- 選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づかせ、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通じて多面的・多角的に考察させ、自分の考えを分かりやすく表現させる。
- 身近な生活を政治の関わりに関心を持たせ、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の民主政治の課題について意欲的に追及させる。

<単元の評価規準>

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 技能	エ 知識・理解
①現在の日本の政党政治の動向や課題について、意欲的に調べ、関心を高めている。	①市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、発表している。 ②選挙に関する課題について、有権者や立候補者、選挙制度などのさまざまな視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	①課題に沿って新聞記事を収集・選択し、その内容を的確に読み取っている。	①議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。 ②選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。

3 単元で身に付けさせたい資質・能力

- 自分の考えについて、その根拠と意見の関係を意識しながら明確に示しつつ、相手の意見を聞き、受け止め、整理していくことができる。

■中学校で身に付けさせたい資質・能力②－3【思考力・表現力・コミュニケーション能力】

- 進路実現に向けて、自己の在り方や生き方を考え、目標を持ち、その達成のための方法を自ら考え工夫し取り組むことができる。

(■中学校で身に付けさせたい資質・能力③－3【主体性・積極性】)

4 単元計画 全6時間（本時1時間目）

時	学 習 内 容	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1 本 時	まとめ・表現 だれを市長に選ぶべき？	○	◎			イ①市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、発表している。	学習活動の観察 ワークシート
2	情報収集 民主主義と政治				◎	エ①議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。	学習活動の観察 ワークシート
3	情報収集 政治参加と選挙①				◎	エ②選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。	学習活動の観察 ワークシート
4	整理・分析 政治参加と選挙②		◎	○		イ②選挙に関する課題について、有権者や立候補者、選挙制度などのさまざまな視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	学習活動の観察 ワークシート
5	情報収集 整理・分析 政党と政治		◎		○	ア①現在の日本の政党政治の動向や課題について、意欲的に調べ、関心を高めている。	学習活動の観察 ワークシート
6	整理分析 まとめ・表現 マスメディアと世論	○			◎	ウ①課題に沿って新聞記事を収集・選択し、その内容を的確に読み取っている。	学習活動の観察 ワークシート

5 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、発表をさせる。
- ・市長選挙の各候補者の政策を市民の立場から分析する活動を通して、政治について関心を持たせる。

(2) 本時の評価規準

- ・イ①市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、発表している。

(3) 本時のめざす生徒の姿 (評価基準)

	評価基準	生徒の姿	基準達成のための手立て
A	根拠明確にして、意見を考え、まとめることができる。また、反対する意見等と比較することができる。	市長選挙の立候補者を選んだ理由について、資料を根拠にして考えることができる。また、反対する意見等と比較することができる。	支持する理由だけではなく、支持しない理由についても考えさせる。
B	(Bを評価基準とする) 根拠明確にして、意見を考え、まとめることができる。	市長選挙の立候補者を選んだ理由について、資料を根拠にして考えることができる。	「資料〇〇から」というように、資料を根拠として挙げながら、理由を考えさせる。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	

(4) 準備物

- ・教科書、資料集、ワークシート、パソコン、電子黒板、ホワイトボード、掲示物

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準[観点] (評価方法)
1. 前時までの振り返りを行い、本時の課題の確認をする。	◇これまでに学習してきた、日本国憲法や基本的人権における、政治との関わりについて触れておく。	
2. 本時のめあてを確認する。	◆本時の学習内容をパワーポイントで説明する。その際、課題設定を行う。 ◆本時の授業の流れを掲示し、授業の見通しを持たせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 本時のめあて 作木市長に最もふさわしい立候補者はだれか考える。 </div>		
3. 個人で立候補者を選ぶ。また、選んだ理由を考え、まとめる。	◇資料を参考にして、立候補者を選ぶ。その際、選んだ理由を明らかにさせる。 ◆「資料〇〇から」というように、資料を根拠として挙げながら、理由を考えさせる。 ◇ <u>効率と公正の観点</u> を踏まえて支持する理由と支持しない理由を考えさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 効率・・・予算を無駄なく使い、市民の満足の全体量が増えているか。 公正・・・市民の多様な利益や損失に配慮しているか。 </div>		

<p>4. グループで立候補者を選ぶ。また、選んだ理由を考え、まとめる。</p>	<p>◇資料を参考にして、グループで立候補者を1名選ぶ。その際、選んだ理由を明らかにさせる。</p> <p>◇<u>支持しない立候補者は、支持しない理由</u>を考えさせる。</p> <p>◇支持する理由と支持しない理由について<u>効率と公正に着目</u>させる。</p>	
<p>5. グループで選んだ立候補者と選んだ理由を発表する。</p>	<p>◆まとめの書き方を統一する。</p> <div data-bbox="655 577 1401 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4班 選んだ候補者 ○○候補</p> <ul style="list-style-type: none"> ・△△を解決することができる。 ・△△が解決すれば、◇◇につながる。 ・他の候補者では××が無駄になる。 <p>※支持する理由は箇条書きにする。 ※3～4つ程度に厳選する。</p> </div>	
<p>6. 再度、個人で立候補者を選び、最終決定した理由を考え、まとめる。</p>	<p>◆投票用紙に最も市長にふさわしい立候補者を書かせる。その際、他の生徒の意見を参考にさせながら、<u>最終決定した理由</u>を書かせる。</p>	
<p>生徒まとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうじ候補を支持する。<u>資料1から</u>、作木市では少子高齢化が進んでいることがわかる。そのため、<u>市民の声や資料3では</u>、総合福祉センターを求める意見が多くなっている。総合福祉センターでは、介護サービスだけではなく子育て世帯への支援をすることができる。<u>高齢者世代と若者世代のどちらの世代にとっても有益である。</u> ・けんじ候補を支持する。<u>資料3から</u>、総合公園の建設を求める声は多いとは言えない。市民の多くは、<u>総合福祉センターやごみ処理施設、体験型テーマパークの建設を求めている。</u>しかし、そのどれもが<u>建設費が高いものばかりである。</u>資料2にある作木市の施設を充実させ、活用することもできる。総合公園は<u>建設費を抑える</u>ことができ、何より災害時には市民の命を守ることができる。 		
<p>7. 本時の振り返りを行う。</p>	<p>◇当選した支持者を発表するとともに、本時のまとめを行う。その際、支持者を最終決定した理由について<u>生徒の理由を紹介</u>する。</p>	<p>○イ①市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、発表している。 (学習活動の観察、ワークシート)</p>

(6) 板書計画

今日のめあて 作木市長に最もふさわしい立候補者はだれか考える。

本時の流れ

まとめの書き方

2班

生徒の意見まとめ
箇条書き

「効率」と「公正」
の視点

1班

3班